

**インターネット** クラウドとは？

7月中旬、福島県は次期「ふくしま情報化推進計画」の中にクラウドコンピューティングの導入を盛り込むことを検討すると発表しました。ここ数年、よく耳にする「クラウド」とは、一体なんなののでしょうか？

**A S P → S a a S → クラウド**

これまでパソコンを利用するためには、パソコン本体や周辺機器（ハードウェア）、ソフトウェアを購入しなければなりません。これに対しクラウドコンピューティングでは、ハードウェアの一部やソフトウェアを購入する代わりにインターネットを介した「サービス」として利用します。

ソフトウェアを「サービス」として利用する動きは以前から存在しており、その都度、ASPやSaaSなどと呼ばれてきました。厳密に言えばそれぞれ概念が異なるのですが、利用者の立場から言えば、どれも大きな違いはありません。なかなか一般普及しない「ソフトウェアのサービス化」を目先を変えるために呼称を変えただけ、などと揶揄されることもあるくらいです。

**クラウド利用のメリットは？**

クラウドを利用するメリットとしてまず挙げられるのがコストの削減です。これまでは新しくシステムを導入する場合、ハードウェアやソフトウェアの購入など初期導入費用がかかりました。クラウドではそれらをサービスとして利用するため初期導入コストが不要または少額で済みます。また、インターネットを介して利用するという形態から、パソコンとインターネットに繋がる環境さえあれば、どこでもサービスを利用できるというメリットもあります。

しかし、サービスとして利用し続ける限り月額または年額の利用料が発生するので、長期的なランニングコストとの比較が重要になります。また、基本的に提供されている形でサービスを利用するため、システムのカスタマイズや改良が出来ないなどのデメリットも存在します。

状況や環境、目的に合致したサービスを見つけて、賢く利用してみましょう。

**インターネット** Twitter活用してみませんか？

みなさん、つぶやいていますか？ Twitterは情報伝播の速効性やオープン性に優れ、積極的に活用する企業が増えてきています。「ツイ割」（ツイッター割引）なるサービスも登場するなど、ますます目が離せないTwitter。では、企業はどのようにTwitterを利用しているのでしょうか。

**企業ツイート、意外となんでもあり？！**

CGMマーケティング社が先月行ったTwitterを利用している企業へのアンケート調査によると、どのようなことをつぶやいているのかとの問いに、「なんでもあり。そのとき思ったこと感じたこと」（45%）、「セール情報やキャンペーン・イベント情報のお知らせ」（34%）、「フォロワーから寄せられる質問・相談Tweetへの回答」（6%）との結果がでました。自社の宣伝ばかりではなく、Twitter担当者が個人的に思ったこと感じたことをつぶやくケースが意外と多いように思います。

また、自社商品・サービスに関する一般的なTweetを日頃チェックしていますか？の問いには、71%が「チェックしている」と答えています。自社に関するマーケティング調査にTwitterを活用している姿が見てとれます。

## ※参考

【アンケート結果発表】企業のTwitter利用実態について <http://twinavi.jp/posts/detail/6218>

**独特の“ゆるさ”がTwitterの文化**

Twitterには独特の“ゆるさ”があります。誰かをフォローするのも自由だし、フォローせずにつぶやきを見るのも自由。つぶやき自体もまじめなものからどうでもいいようなことまで様々です。上記のアンケートでも、自社の宣伝ばかりに力を入れるのではなく、フォロワーとのコミュニケーションを大事にする企業も少なくないことが分かります。Twitterをどのように活用するかは、あなた次第です。

ユーザーが急激に増加しているTwitter。あなたの会社でもぜひ活用してみたいかでしょうか。

**編集後記**

パソコンと電子楽器を組み合わせたDTMは昔からありましたが、ここ数年は「初音ミク」に代表されるボーカル音源が注目されています。一般ユーザーが作った曲が動画投稿サイトにアップされ人気になったり、様々なメディアとのコラボレーションが行われたりと、すでにひとつの文化を形成していると言えます。自分も最近DTMに興味があり、一度使ってみたいと思っているのですが、ソフトを使いこなす前に、曲が作れるかどうかが問題です（苦笑）（本田）